

第31回微粒化シンポジウム

Thirty-first Symposium (ILASS-Japan) on Atomization

日本液体微粒化学会
第31回 微粒化シンポジウム実行委員会
委員長 野村 浩司

主催 日本液体微粒化学会 (ILASS-Japan) ・日本エネルギー学会
協賛 ILASS-Korea, エネルギー・資源学会, 応用物理学会, 化学工学会, 可視化情報学会, 自動車技術会, 静電気学会, 石油学会, 日本画像学会, 日本ウォータージェット学会, 日本エアロゾル学会, 日本化学会, 日本ガスタービン学会, 日本機械学会, 日本原子力学会, 日本工業炉協会, 日本航空宇宙学会, 日本混相流学会, 日本耳鼻咽喉科学会, 日本伝熱学会, 日本塗装技術協会, 日本塗装工業会, 日本燃焼学会, 日本農作業学会, 日本バーナ研究会, 日本マリンエンジニアリング学会, 日本薬学会, 日本流体力学会, 農業食料工学会, 農業施設学会, 農業農村工学会, 粉体工学会, 粉体粉末冶金協会 (依頼中を含む)

1. 開催趣旨 微粒化技術は、エネルギー機器・粉体製造・医薬・農薬・食品・塗装・環境制御など、広く利用されているためその重要性はますます高まっています。本シンポジウムは、多方面からの研究者・技術者が集まり、研究成果や研究開発中に生じた問題点や解決策の報告をとおして、産官学が一体となって微粒化技術の新しい展開を図ることを目的としています。

2. 開催要領 日程：2022年12月15日（木）－16日（金）
場所：日本大学生産工学部津田沼キャンパス39号館
(〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1)
アクセス詳細は <https://www.cit.nihon-u.ac.jp/access/> をご参照下さい。

3. 内容 一般講演、特別講演、技術懇談会および微粒化関連の機器展示とカタログ展示等を企画しております。

招待講演： Taehoon Kim 氏 (ソウル科学技術大学)

- 一般講演：
- ◆ 噴霧燃焼, 噴霧冷却, 表面処理等の工業技術における微粒化
 - ◆ コロイド, エマルジョン等の化学工業における微粒化
 - ◆ 液体の分裂機構, 噴霧の挙動, 二相流等の流体力学的解明と微粒化
 - ◆ 液滴の蒸発・混合気形成過程, 混相流, マイクロバブル
 - ◆ その他微粒化関連分野

研究や開発の成果を公表するもの。研究や開発途中の新事実や問題点を指摘するもの。資料や事例なども含みます。

原稿枚数：A4原稿1 - 8頁

なお、講演の採否は学会にご一任下さい。

優秀講演賞：2022年1月1日時点で40歳以下の若手講演者を対象にした優秀講演賞の表彰を行いません。

日本エネルギー学会奨励賞：日本エネルギー学会の会員で講演時に35歳以下の方は日本エネルギー学会奨励賞候補者の推薦対象になります。

4. 講演申込方法 (申込み受付開始は6月中を予定しています.)

- (1) 講演申込: 2022年8月31日(水)までにWebサイト (<http://www.iclass-japan.gr.jp>) からお申込ください.
- (2) 論文原稿締切: 2022年10月17日(月)までに, 執筆要領にしたがって作成した原稿のPDFファイルを「講演論文担当事務局」宛にご送付ください. 原稿フォーマットはWebサイト (<http://www.iclass-japan.gr.jp>) よりダウンロードしてご使用下さい. なお, 原稿はシンポジウムの講演論文集に掲載されるだけでなく, その一部が日本液体微粒化学会発行の学会誌「微粒化」に掲載されるシンポジウム報告等の記事に転載されることがあります.

—講演論文担当事務局—
〒263-8522 千葉県稲毛区弥生町 1-33
千葉大学大学院 工学研究院
「第31回微粒化シンポジウム」講演論文担当幹事 窪山 達也
TEL : 043-290-3916 E-mail : tkuboyam@faculty.chiba-u.jp

(3) 講演方法について

講演時間は25分(発表15分, 討論10分)を予定しています. 講演会場には液晶プロジェクターを用意しますので, 講演者はノートパソコンをご持参いただきますようお願いいたします.

5. 参加申込方法 シンポジウム参加要領は以下のとおりです. (講演者も参加申込が必要です.)

(参加申込みのWebサイトからのお申込み受付開始は6月中を予定しています.)

- (1) 参加費: シンポジウム参加費には講演論文集代を含みます. なお, 協賛学協会の会員の方々は「会員」の資格で参加できます.

シンポジウム参加費	会 員	事前申込	6,000円	(申込期限後	7,000円)
	非会員	事前申込	11,000円	(申込期限後	12,000円)
	学 生	事前申込	3,000円	(申込期限後	4,000円)

技術懇談会 開催を予定しておりますが, 新型コロナの感染拡大状況で判断致します. 実施可否につきましては, 9月頃までにWebサイトからご案内します.

※非会員の方はこの機に是非ご入会下さい. (年会費: [正員:3000円, 学生会員:1000円], 入会金: なし) 入会方法については <http://www.iclass-japan.gr.jp/> をご参照下さい.

- (2) 事前申込方法: 2022年12月2日(金)までに, Webサイト (<http://www.iclass-japan.gr.jp>) からお申し込みのうえ, Paypalを通じて参加費の合計額をお振り込み下さい. Webサイトからの申込のみでお振り込みが無い場合には, 当日, 申込期限後の金額をいただきます.

—参加担当事務局—
〒275-8575 千葉県習志野市泉町 1-2-1
日本大学 生産工学部 機械工学科
「第31回微粒化シンポジウム」参加担当幹事 菅沼 祐介
TEL : 047-474-2341 E-mail : suganuma.yusuke@nihon-u.ac.jp

6. 実行委員会

委員長	野村 浩司 (日本大学)
副委員長	窪山 達也 (千葉大学)
幹事・財務担当	齊藤 允教 (日本大学)
幹事・参加担当	菅沼 祐介 (日本大学)
幹事・会場担当	松本 幸太郎 (日本大学)
幹事・広報担当	尾形 陽一 (広島大学)
幹事・表彰担当	瀬尾 健彦 (近畿大学)
幹事・機器展示依頼担当	駒田 佳介 (福岡工業大学)
委員	松村 恵理子 (同志社大学), 森上 修 (九州大学), 井上 智博 (九州大学)